

令和元年10月1日 第199号

社協だより

(1)

ふ・れ・あ・い

いんいん

隣

隣

びほろ社協だより

発行 社会福祉法人
美幌町社会福祉協議会

美幌町字東3条北2丁目1番地
「しゃきっとプラザ内」
電話 72-1165

発行責任者 森 暉 夫 印刷 (株)美幌新聞社



社協だよりは、共同募金の配分金も利用し、発行されています。

じぶんの町を良くするしくみ。

赤い羽根共同募金



赤い羽根共同募金

10月1日から赤い羽根共同募金運動が始まり、毎年多くの皆様からご協力をいただいているところです。厚くお礼申し上げます。募金は、美幌町内で福祉活動を行っている団体の事業及び北海道内の福祉施設への助成や福祉車両の購入助成、行事用テント助成、災害支援活動に活用されています。

美幌町で集まった募金の約70%は、美幌町での福祉活動に活用されています。

戸別募金
街頭募金
法人募金

目標額
4,000,000円

職域募金
学校募金
イベント募金

いつでも、どこでも参加ができる共同募金を目指して、自治会やボランティアの方々のご協力をいただきながら、さまざま募金活動を行っています。



大型店などでの街頭募金（昨年）



小・中学校、高校での学校募金

「じぶんの町を良くする」共同募金運動

ふるさと祭り会場でのご協力ありがとうございました

「この箱を見たら募金したくなるんだよね。」と言いながら、お小遣いを入れてくれた二人づれの女の子、一人が募金すると「この流れは、しなきゃならんしょ！」と笑いながら一緒に募金してくれた大人数の男子中学生、幼い我が子にお金を持たせ募金箱に入れることを教えていた若いご夫婦、…。



暴力団関係者を排除し、安心・安全に楽しめるふるさと祭りならではの、心あたたまる子どもたちの一コマです。

この他にも、まつり来場者の多くの方より募金とともに暖かいことをいただきありがとうございました。今後とも共同募金へのご理解とご協力をお願いいたします。



美幌町共同募金委員会



赤い羽根共同募金

令和元年度の配分金のつかいみち

計 2,619,000円

高齢者の社会参加のため	200,000円
美幌町老人クラブ連合会	200,000円
障がい児・者の社会参加のため	150,000円
美幌町身体障害者福祉協会	150,000円
地域福祉・ボランティア活動のため	1,560,000円
たすけあいチームへの活動助成	650,000円
小・中・高ボランティア指定校（6校）	310,000円
美幌町ボランティア連絡協議会	150,000円
ボランティアグリーングループ	30,000円
ボランティアグループふきのとう	30,000円
声のふれあいネット	30,000円
美幌地区保護司会	60,000円
ボランティアまなざし	30,000円
美幌町赤十字奉仕団	40,000円
美幌町手をつなぐ本人の会フレンズ	30,000円
くるみ里親会美幌支部	30,000円
美幌町ハート支援ネットワークの会	35,000円
ナルク美幌からまつ	45,000円
絆ーびほろ	60,000円
美幌更生保護女性会	30,000円
広報・啓発活動のため	709,000円
社協だよりの発行	709,000円



共同募金は、私たちの 身近な活動に生かされています

共同募金の配分金を原資とする「ボランティア、福祉活動団体助成金の交付式」が6月24日行われ、13団体に助成金が交付されました。

また当日は、小・中・高校ボランティア指定校への助成金交付式も行われ、各校のボランティア活動の取り組みも報告されました。

配分金使途の身近なところでは、自治会たすけあいチームの活動費にも助成されています。



2019年度ご当地ピンバッジ

びほろアスパラ娘



ご当地ピンバッジは、赤い羽根共同募金に500円以上募金していただいた方へ1個プレゼントしていますので、皆様のご協力をお願いいたします。

歳末たすけあい募金

期間 12月1日～12月31日

歳末たすけあい募金では、町内での募金額の全てが美幌町の福祉のために活用されます。

ご協力いただいた募金は、歳末のまごころプレゼントとして、民生委員さんをつうじて贈呈されます。募金は、各自治会などにお願ひさせていただきますので、今年度につきましても、皆様のご協力をお願い申し上げます。



平成30年度の配分結果

計 1,512,236円

寝たきり高齢者へのお見舞	128,236円
障がい児者へのお見舞	120,000円
施設入所児童へのお見舞	90,000円
生活困窮世帯へのお見舞	1,174,000円



みんなで楽しめる
イベントいっぱい

第33回

ふれあい

広

場

びほろ

～ひと・ふれあい・支え合い～

アスパラ量って熱戦

第33回ふれあい広場びほろ（実行委員会主催）が8月25日（日）、しゃきとプラザにて開催されました。

今年の注目は、「第1回全日本アスパラ計量選手権アスパラびったんこ」。30秒でアスパラを感覚だけで計量し、重さ2キロに近づけるイベントが熱戦。優勝者はわずか2グラムの誤差の1.998キロを記録。また、「ふれあいもちまき」でも町民の熱戦！？が繰り広げられました。

このほか、健康チェックや手話体験など、実行委員会36団体による催しにより、多くの町民が福祉と健康への理解を深めました。

【協賛】JAびほろ、スマッピーカード協同組合



もちまきも熱戦!?



災害時の心理・防災対策などを研修

たすけあいチーム 活動推進協議会 **総会と研修会開催**

美幌町内の各自治会では、高齢者世帯などに対して除雪支援や会食、安否確認など「たすけあいチーム」が取り組んでいます。6月25日(火)には、各チームを総括する活動推進協議会(龍瀧誠一会長)の総会が町民会館で開催されました。

現在、同協議会には33チームが登録し、地域ぐるみの援護活動を展開しています。総会では龍瀧会長が「地域のみなさんが笑顔で楽しく過ごせるよう、これからも支援活動をお願いします」とあいさつし、令和元年度の事業計画などを決議しました。

総会後は研修会『たすけあいチーム防災推進セミナー』が開かれ、当社会福祉協議会の藤田浩孝地域福祉推進室長が、精神保健福祉士(P S W)として精神・心理的な側面から「地域を守る!～自助から共助への道～」を演題に講話。



活動推進協議会
龍瀧誠一会長



藤田P S Wは、「予告なしに突然発生する災害への対応は、まず“まさかこんなことが起こるわけがない”というバイアス(思い込み、偏見)を解除すること」「自助と共助の力が大切で、どんな災害でも対応できるよう日ごろの訓練が必要」などと講話。東日本大震災など、実際の大災害を教訓とした防災対策や、胆振東部地震での厚真町社協支援の経験からの講話に、たすけあいチームのメンバーは熱心に聞き入っていました。

『専門用語を使わない! 終活・後見講座』開催

町成年後見支援センターは、8月25日(日)しゃきっとプラザで終活・後見講座を開催。講師に日本相続知財センター札幌の加藤るり子理事を迎えました。

受講された町民の方々は、人生の記録、葬儀や遺産など死後の希望を書き残す「エンディング・ノート」の書き方ほか、障がいを抱える子の親が自身が死亡した後に備え、子の生育歴、財産や相続について記す「親心の記録」などについて学びました。



ボランティア活動紹介

緑の苑 緑苑祭

8月18日(日)に開催された特別養護老人ホーム緑の苑の「緑苑祭」にて、社協の個人登録ボランティア7名と美幌高校ボランティア同好会5名が、バルーンアートのコーナーを担当し、犬やうさぎ、花などを、来場者のリクエストに応じて作りました。

バルーンアートは、風船をもらって「笑顔」、その笑顔を見てボランティアも「笑顔」になる、笑顔が溢れる活動です。



3市町老人クラブ連合会女性部リーダー研修会



7月31日(金)網走市、大空町、美幌町の3市町から107名の会員が集い、女性部リーダー研修会が開催されました。

美幌町老連が当番となった今年は、午前には、美幌町地域包括支援センター佐々木所長の指導による「きよしのズンドコ体操」に汗を流しました。

午後からの美幌町老連で人気の「輪投げ体験」では、輪投げの奥深さに熱が入り、和気あいあいのなか、楽しみながら交流を深めることができました。

美幌町老人クラブ連合会第8回パークゴルフ大会

～夏の成果を、今ここに!!!～



9月10日、河畔公園パークゴルフ場に老連会員47名が集い、恒例のパークゴルフ大会が開催されました。猛暑のなかの熱戦、終了後は、最終ホールまでのお互いの健闘をたたえ合いました。



おしらせ

第67回きたみ菊まつり 日帰りバス旅行 参加者募集!!

～みんなで大型バスに乗って行きませんか?～

- と き 令和元年10月24日(休)
9:00～12:00
- 行 先 第67回きたみ菊まつり
(北見駅南多目的広場)
- 参 加 費 無 料
- 対 象 65歳以上の町民で、自力で歩行が可能な方
(定員40名)
- 申込期間 令和元年10月1日(火)～18日(金)
※定員になり次第締め切り
- 申込方法 社協窓口でお申し込みください。(しゃきっとプラザ2階)
- お問合せ 社会福祉協議会 電話72-1165(土・日・祝 休み)



受賞おめでとうございます！

多年にわたり民生委員・児童委員、奉仕者、社会福祉協議会役職員として活動された、つぎのみなさまに、その功績がたたえられ表彰されました。

長年のご尽力に心から感謝いたしますとともに、今後、益々のご活躍をご祈念申し上げます。

北海道社会貢献賞（北海道知事表彰）

石 澤 淳 子 様（民生委員・児童委員）

北海道社会福祉協議会会長表彰

山 本 勝 己 様（民生委員・児童委員）

旭 珪 子 様（民生委員・児童委員）

森 暉 夫 様（社会福祉協議会会長）



受賞式（北海道社会福祉大会）

オホーツク管内市町村社会福祉協議会連絡協議会会長表彰

民生委員・児童委員 寺 崎 正 浩 様

奉仕者 ボランティアグリーングループ会員

田 中 ミ ツ 様

成 瀬 喜代子 様

社会福祉協議会役職員

副会長 菅 野 隆 秋 様

監 事 平 田 美木男 様

評議員 龍 瀧 誠 一 様

評議員 岡 本 精 二 様

評議員 平 居 宏 聖 様

事務局職員 山 田 愛 様



受賞式にご出席のみなさま

令和元年8月豪雨災害義援金を受付しています。 日本赤十字社美幌町分区

日本赤十字社では、令和元年8月豪雨災害義援金を受付しています。

受付期間 令和元年9月2日(月)～令和2年2月28日(金)

受付場所 日本赤十字社美幌町分区（美幌町社会福祉協議会） 電話 72-1165

この義援金は、被災地県に設置される災害義援金配分委員会を通じ被災者へ配分されます。

おしらせ



◇新任职員◇

9月1日より社協事務局職員に採用されました。よろしくお願いいたします。

地域福祉推進員 黒 澤 顕

心温まるご寄付をありがとうございます。



社協のHPへ
ジャンプ！

社会福祉のために、いつも温かいご寄付をいただきありがとうございます。
心より厚くお礼申し上げます。地域福祉のために有効に活用させていただきます。

高額寄付

■生前お世話になったお礼として

10万円 松島 哲様

■ふれあい広場のために

39,964円 石橋 藤雄様

■社会福祉事業のために

5万円 坂東 ハマ様

4万円

美幌町民親睦チャリティゴルフ大会
実行委員会様

寄付金

■香典返しを廃して

- ・元村 隆様
- ・藤井 潔様
- ・木村 佳子様
- ・上原 直美様
- ・甲斐 公一郎様
- ・小原 澄子様

■新タオル、雑巾、当て布

- ・栄町若葉クラブ様

■当て布、タオル

- ・北3丁目女性部様

■ポータブルトイレ

- ・渡部 義人様

■雑巾

- ・ナルク美幌からまつ様

■巾着

- ・増子 和子様

寄贈品

■エコキャップ

- ・明治安田生命美幌営業所様 ・小松 幸彦様
- ・日本赤十字血液センター北見出張所様
- ・明治安田生命北見北営業所様

■リングプル

- ・㈱道央環境センター様 ・浪岡 均様

■エコキャップ、リングプル

- ・新興老人クラブ様 ・谷出 省吾様 ・どんぐりの会様
- ・緑の苑様 ・木村 佳子様 ・上田 耕平様
- ・村松 富子様

■エコキャップ、リングプル、使用済切手

- ・美幌ライオンズクラブ様 ・佐々木 峻様

■エコキャップ、リングプル、使用済切手、当て布 ・柏クラブ様

■リングプル、エコキャップ、当て布、雑巾、新タオル

- ・ライラッククラブ様

■当て布

- ・寿自治会様 ・東雲クラブ様



赤十字テント伝達式

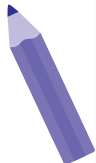
赤十字災害用テントが配備されました

町民の皆さまをはじめ多くの方より寄せられた赤十字活動資金により、赤十字奉仕団に災害用テントが配備されました。最初の使用は、写真のふれあい広場の「避難食の試食体験コーナー」でした。赤十字活動へのご厚意に心より感謝申し上げます。



赤十字奉仕団のみなさま

あ
と
が
き



この夏は例年以上の熱帯夜が10日以上も続き、体調をくずした方もおられると思います。
地球温暖化が進み私達の身近にも連日のように大きな影響を及ぼしておりますが、これまであまり聞かされた「線状降水帯」による集中豪雨が日本各地を襲い、川の氾濫・大水害へと予想を超える大きな被害をもたらしました。ここ北海道・美幌も油断しないで災害に対する心構えを改めましょう。
さて「第33回ふれあい広場びほろ」が多くのご来場者と福祉・ボランティア団体のご協力により成功裏に終了いたしました。ありがとうございました。今回の「りんりん第199号」は新編集スタッフが発行し皆様にお届けしました。

これからも美幌町社会福祉協議会への益々のご理解とご協力の程、お願い申し上げます。

(藤井 記)